

The Daily NNA

アジア経済情報紙 <http://www.nna.jp/>

NNA Singapore Pte Ltd

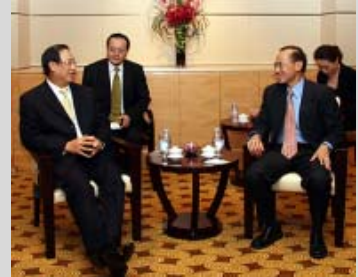
10 Anson Road, #14-08 International Plaza, Singapore 079903
Tel: 65-6738-3333 Fax: 65-6227-2995 E-mail: sales@nna.com.sg

シンガポール版

MICA(P)113/03/2008 Company Reg No. 199500734E

品川レーシックセンター開所 海外初、日本の技術導入

Today's Flash



公式訪問したベトナムのファム・ザー・キエム副首相兼外相と会談するジョージ・ヨー外相＝外務省提供

【IT】シングテル、南ア社買収で新会社設立か **2**

【商業】卸売り販売指数、1～3月期は26%増 **3**

News Headline

【IT】日系6社を表彰、半導体スタッツ
【建設】住宅価格は2年内に急落、外銀2行予想 **3**

【運輸】MRT大幅増便、平日の昼・夜に
【運輸】中小企業向けITソリューションバス登場
【運輸】陸運SMRT、高級タクシーを整備
【金融】超高速取引サービス、SGXが提供 **4**

【金融】株価続落、0.09%安
【医薬】産婦人科トムソン、越病院と株売買合意
【車両】スポーツカーのレプリカ車、高額でも人気 **5**

【経済】オランダ商工会議所が始動、事業創出へ
【経済】貿易業者の優遇措置、67社を認定
【経済】付加価値税の扱いやすさ、世界4位
【家電】家電流通タクルル、不動産を中核事業に **6**

【食品】有名飲食店、学校内食堂に続々進出へ
【社会】EDBの誘致奏功、外国大学の参入増加

ASEAN情報

【車両】年内3モデル投入を計画、スバル販社 **7**

【IT】毎年100億円、富士電機が半導体増産
【社会】《安全》燃料値上げに反対、3千人のデモ計画 **8**

【鉄鋼】建設業、格安鋼材要求へ価格高騰で **9**

Asia'N ファイル

環境配慮の新婚旅行、使用済み油燃料に(オーストラリア) ... **5**
支払い問題、地震への黙とうで解決(中国) ... **7**

Market Information

クロスレート ... **9** 株式・為替 ... **12**

10
川剛の生産革新道場 第116回
現地管理者に数字の重要性を理解させよ

Take Off

世界的傾向なのはよく分かっている。毎日記事を書いているから着々と進行しているのは頭に入っていたつもりだ。しかしいざ目の前に突きつけられた現実、やはり衝撃的である。

途上国では価格の高騰から暴動すら起こっている。当地は暴動を起こすほど世情は荒れてはいないが、人々が口々に不満を漏らしていることは変わらない。新聞を開けばいかにして経済的に生活をするかという記事が、毎日のように目に飛び込んでくる。

なぜこのようなことになったのか。大国による覇権主義の影響か。新興国が経済発展を追求しているからか。それとも何者かがすべてを握り支配下に置いているからなのか。

そんなことを考えつつ、今朝も1Sドルをめぐってあちらの店かこちらの店かと朝食探しに奮闘する。(角)

テイクオフ各国・地域版 ... **11**

【シンガポール—医薬】

品川レーシックセンター開所 海外初、日本の技術導入

オーチャードの商業施設ウィーロック・プレイスに21日、レーシック(近視、乱視を直すレーザーを利用した屈折矯正手術)を専門にした品川レーシック・センターが正式オープンした。品川近視クリニック(東京・千代田区)と地元の眼鏡小売り・眼科医院運営キャピトル・オプティカル、シンガポール国立眼科センター(SNEC)の傘下団体SNEC眼科アソシエーツが提携して設立した。

品川レーシック・センターは国内最大の民間レーシック・クリニックとなる。キャピトルが50%、品川近視クリニックの綿引一院長、同クリニックに医療機器を販売するアイレンズ代表の鳥畑純一氏、日本の眼科医の3人が出資する品川ホールディングスが計25%、SNEC眼科アソシエーツを通じてシンガポール政府が25%出資する。投資額は400万Sドル。

品川近視クリニックが海外に進出するのは今回が初めて。米イントラレーズ社が開発した高精度の医療用イントラレーザーを使用しており、従来の金属刃(電動メス)では難しかった手術も正確かつ安全に行うことができる。同クリニックは日本のイントラレーズ・レーシック市場で65%のシェアを誇る。

品川レーシック・センターは、最新機器を備えた手術室4室、診療室6室などから成る。高い技術水準の手術を短時間で効率的に行う日本のノウハウを生かしつつ、良心的な値段でレーシック手術を提供する。常駐の医師は地元出身のリー・サオ・ビン氏1人だが、需要に応じてSNECの医師が治療に参加する。当面は

月2,000人の治療を目指し、今後2年で国内シェア25%を達成したい考えだ。治療費は両眼で2,388Sドル(消費税除く)。

同センターのディレクターを務める鳥畑氏はNNAの取材に対し、「イントラレーシック治療はシンガポールでも受けられるが、料金が3,200〜4,000Sドルと高い。(同氏がアドバイスを行っている)品川近視クリニックでは、手術効率を高めることで、短時間で非常に高い水準の施術を多くこなすことができる。このノウハウを新センターに移管することで低価格を実現できた」と話した。シンガポールは人口の大半が近視といわれていることから、国は小さくても潜在的市場は大きいとみている。インドネシア、マレーシアなど域内の患者の利用も見込む。今後は医師や看護師の数を増やす計画だ。10月ごろには老眼治療など新たな眼科治療サービスも始める予定。

アイレンズはシンガポールに拠点を置く。同氏がSNECに品川近視クリニックの治療方法などを紹介したことがきっかけで、昨年10月にSNECが同クリニックを視察。SNECは手術効率や技術水準に感銘を受け、新センターを設立することが決まった。



最新設備を備えた品川レーシック・センターの手術室=21日、NNA写す

【シンガポール—IT】

シングテル、南ア社買収で新会社設立か

通信最大手シンガポール・テレコム(シングテル)とインドの携帯電話大手バルティ・エアテルは、南アフリカのMTNグループの買収に向け、特定目的会社(SPV)を設立する計画だ。21日付ビジネス・タイムズが伝えた。

インドのビジネス・スタンダード紙によると、SPVはつなぎ融資などを含む資金調達を行い、将来的に

は米預託証券(ADR)、グローバル預託証書(GDR)を売却する。

SPVは、バルティに45%出資するバルティ・テレコムの子会社となるもよう。シングテルはバルティ・エアテル株約30%を保有している。バルティは、同社の創業者やシングテル、SPVの株を希釈化し、資金調達するとの見方もある。